

## 1 小倉城下町を調べよう。

(1) 「西国内海名所一覧」の絵を見て、当時の小倉城下町の様子について気付いたことを書きましょう。

- ・海にたくさんの船が集まっている。
- ・港の近くに倉庫のような建物がたくさんある。
- ・道を大名行列のようなものが通っている。
- ・とてもにぎわっている感じがする。

(2) 江戸時代の小倉城下町の様子について、次の文の( )にあてはまる言葉を入れ、文を完成させましょう。【ヒントは、テーマ館・近世の展示資料説明板にあります。】

- ・小倉城下町の町域は、東西に約( 2 ) km、南北に( 1.3 ) km、中央を( 紫川 )が流れ、北は響灘に接しています。
- ・「西国内海名所一覧」には、手前中央紫川にかかる( 常盤 )橋と河口の船溜ふなだまりを配置し、東西に走る( 長崎街道 )に連なる京町・( 室 )町の町並みが描かれています。
- ・小倉は、本州への渡航地でもあり、港町・( 宿場町 )の性格もそなえていました。

## 2 テーマ館・江戸時代の北九州の展示資料を調べて、江戸時代の小倉の名産品や、輸入品にはどのようなものがあつたか書きましょう。

### 【小倉の名産品】

- ・小倉織 ・上野焼 ・三官飴

### 【輸入品】

- ・西洋のディナー皿、ケーキ皿、ティーカップ、盃、酒瓶

## 3 学習して分かったことや感想をまとめよう。

- ・江戸時代の文化の様子や交通・産業の発達、小倉の城下町についての記述が書かれていればよい。